

令和4年2月7日 議会改革特別委員会 議事録  
13時00分 開会

○出席委員 (8人)

委員長 網谷 芳孝

副委員長 西村 一啓

委員 藤川 和弘、原田 孝徳、小中真樹雄、小田上尚典、北地 範久、  
日域 究

議長 賀屋 幸治

○欠席委員 なし

○網谷委員長 それでは定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委員会を開会いたします。

また、広報広聴の皆様は大変お疲れと思いますが、引き続きよろしくお願ひします。

それから、先ほど議長がおっしゃいましたとおり、山本議員が昨日逝去されました。細川議員は欠席となっておりますが、リモートで参加されますので、よろしくお願ひいたします。

今日の委員会には委員外議員の方にも出席いただいております。本当にありがとうございます。また、昨年末には、議員定数問題に関するアンケートの意見要請に対し、真剣な意見の提出をいただきましてありがとうございます。そうした中で、アンケートの内容を参考に、今年1月の委員会で協議しました結果、もう少し掘り下げた意見交換が議員全員でできないかと意見が出され、議会にとって大変大きな、大事な問題でありますことから、委員外議員の皆さん、今日はよろしくお願ひ申し上げます。

それでは早速ではございますが、令和元年9月から今日までの議会改革特別委員会の経緯を簡単に説明させていただきます。

令和元年8月に執行されました大竹市議会選挙において、市制施行以来初の無投票の結果となり、本市議会にとって大変大きな課題となりました。そうしたことを踏まえまして、令和元年9月に議会改革特別委員会の設置に関する決議としまして、議会改革特別委員会に対し、次の事項が付議されております。

議会改革に関して議長が必要と認める事項、議員の成り手不足解消に関する事項、関連事項としまして大竹市議会にとってどのような改革、改善が必要かという、以上3項目が決議されました。

そうした中、委員、会派の皆さんから、活動方針を募ったところ、15項目の活動方針が提示され、その中で、前期の委員会では、議長主導のSNS発信、委員会のインターネット中継、自由討議の制度導入、決算委員会での意見の議会提案等がこれからも検証しながらではあります4項目実行されております。

昨年9月からの後期の委員の皆さんにも、前期と同じような活動方針について意見を募ったところ、全委員が先の15項目以外の項目はなく、市議会選挙が無投票の結果を踏まえ、

協議事項として前期の委員会の活動方針である議員定数についての項目を、協議することが全委員一致で約束されたわけでございます。

全委員一致で約束したことでございますが、議員定数に変更になる場合は、次期選挙も迫ってくることから、期限としましては令和4年12月議会上程の予定との結論を委員会としては決定しているところでございます。したがって12月議会上程となれば、定数変更の場合、条例改正等の準備もいることから9月までには結論を出さなければならないことが予想され、委員会での了解がなされております。

そのようなことを踏まえながら、当委員会では議員定数に関する他の市町、または大竹市議会の過去二十数年来の資料をひもときながら、協議、研究しているところでございますので、今日は全議員の忌憚のない意見を聞かせていただければと思います。今後の委員会の参考になればと思いますので、どうか今日はよろしくお願い申し上げます。

それから、前委員会では、今回の協議は録音をしないということでしたが、正副委員長、議長との協議で、後々の参考のためにも録音は必要ではないかという結論になりましたので、今日の協議会は録音をさせていただくことでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○網谷委員長 異議なしということで、録音をさせていただきます。よろしくお願い致します。

それからもう1点、委員の皆さんに確認したいことがございます。協議の中で、報酬または政務活動費に関する言葉が発言の中に時々ありますが、やむを得ないところはございますが、報酬等に関することは市長の諮問機関であり、市議会報酬等審議会の管轄ですので、当委員会では審議はしないということでよろしくお願い申し上げます。

それでは、日程1に入らせていただきます。

議員定数問題に関する全議員16名の意見交換をこれから行いたいと思います。今回は委員外議員との協議会で、休憩中に協議を行うということになります。協議会の方法としては自由討議ですが、自由討議が了承されているのは2常任委員会の2つだけですが、今回は自由討議に似た形の協議会の進め方をさせていただきたいと思いますので、了解よろしくようお願い申し上げます。

これから休憩の宣言を行い皆様方と一緒に意見の交換をさせていただきたいと思います。

このアンケートの中で4つの項目があったと思いますが、全部深い関係がございますので、一括して皆様の感想を述べていただければと思います。1個1個については後ほどよろしく申し上げます。

ということで、これから委員会の皆さん、全議員の意見交換会をしたいと思います。

小田上委員。

○小田上委員 すみません。進行の途中で申し訳ないです。

委員長、これは休憩を宣言された後ですか。

○網谷委員長 まだしてないです。

○小田上委員 まだしてないですね。すみません。いつどうやら始まるのか分からなくて。

○網谷委員長 児玉議員。

○児玉議員 休憩の間の録音を取るのですか。

○網谷委員長 そうです。

○児玉議員 休憩を取るんですか。

○網谷委員長 休憩を取るんです。

○児玉議員 休憩中のみんなの話を録音して今後の参考にするっっちゃうことでよろしいですか。

○網谷委員長 そういうことです。というのも、ほとんどが休憩中の協議になります。休憩を宣言しませんが皆さんそれぞれの委員会のほうで発言通告を申し出ていただかねばならないという手続もございますので、そういうことをなしにしまして、皆さんの忌憚のない意見を聞きたいということでございます。その辺のところを御了承をよろしく願います。

それでは、これから休憩に入ります。よろしく願います。

13時13分休憩

15時07分再開

○網谷委員長 それでは、休憩前に引き続き委員会を開会させていただきます。

この後、議員全員協議会がございしますが、今回の議員全員協議会は議会改革特別委員会と関連がございしますので、議長のほうから説明していただければと思います。

議長。

○賀屋議長 お疲れでございします。

議会改革特別委員会のこの議論を踏まえて、次の議員全員協議会があるわけですが、それの中で私のほうが提案といいますか話を出したいのは、議会報告会の件でございします。議会報告会をどのように持っていくかという中で、一つは報告の中身を現在議論しております議員定数の在り方について、この報告会の中で市民の皆さんの意見を聞いてみると、意見交換をするということの一つのテーマに持っていけないかなというふうに考えておるわけでございますけども、このことについては先ほど休憩中の自由討議の中で、報告会でその話を出すよりも議会改特別委員会の意見集約や意見交換会という形の中で市民からの意見を問うべきではないかというふうに寺岡議員のほうから提案ありましたが、議会報告会をどういう形にするかということも今から詰めていかなければいけませんし、また近々の課題として市民の意見をどのようにこの議会改革特別委員会の中に取り上げていくのかということも一つの大きな課題でございしますので、ぜひとも議会報告会の中でこのテーマについて取り上げていきたいというふうに考えておる次第でございします。

それで、どのように市民にこのことを投げかけるのかということになりますと、資料といいますか材料として議会からこの定数問題に対してのどういうことが議論されてるのかということについて情報提供をして、それを受けて市民から意見を頂くということがスムーズにいくのではないかなというふうに思います。端的に定数についての削減をしたときの短所・長所を集約しまして、それをこういうふうを考えられるということを市民の皆さんに提示をして、そのことに対して、いやそうじゃないんじゃないかとかそう思うとかいろんな意見を頂ければスムーズに事が運ぶのかなというふうに思いますので、そういった短所であるとか長所であるとかそういったことをこの議会改革の中で次の作業として取り

組んでいただけないかなと、それとそのほかにも、先ほど言いましたように全国の市議会の815あるわけですけどもその情報、現状がどうなってるのかと、また大竹市と同じ規模の市の状態であるとかそういう比較をする材料、それを比較をしてもそれを参考にまでしかできませんけども、その材料を提示してあげる、そういうことも含めて作業を議会報告会の中で、この議員定数に関わる意見交換をする上での資料作りというのを情報収集も含めて議会改革の中で作業をしてもらえないかなということをお願いしたいというふうに思うわけです。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。

今、議長の発言の中で議会改革としてのいろいろな資料の作成、また原稿とかいろいろ支度ですか、その時間が必要でございます。それから、前回の正副の班長の中ではおおむね4月か5月の初めに報告会が実施されるというようなことが決まっておったと思います。そうした中で、大変タイトといいますか忙しくなります。時期が決まりますと。そうしたことから、今の資料作り、または制作するのに人選といいますか分担といいますかそういうのも決めなければならないかと思っておりますので、もう時間があまりありませんので、まずはこれから議員全員協議会が始まるかと思っておりますが、どういう決め方になるか、時期はいつになるのかもよく今のところはまだ未定ではございますが、大体のところは決まっておりますが、そういうことから議会改革特別委員会としましては大変急ぐような段取りになろうかと思っておりますので、まずは取りあえず委員会を来週ぐらいにさせていただきたいんですが、委員の皆さんどうでしょうかね。

小田上委員。

○小田上委員 班長会議に副班長として出席しておりましたので、議会報告会に議員定数のことについては入れないといけないだろうという話は班長会議の中ではおおむね承を得られたという流れがあったと思います。たたき台を次の班長会議に議長が作ってきてくださるところで班長会議、次回が本来はこの後の予定だったものが議員全員協議会に変わるというところの流れだったかなとは思っています。

先ほど議長が案として言われたものが正直、削減した場合のメリット・デメリット、現状維持の場合のメリット・デメリット、であれば増やした場合のメリット・デメリットも必要なかなと思っておりますし、ただ思いますけど、その類いの話をまだこの中で全くしてないのに資料ができますよなんていうことは一言も言えないわけで、今までの報告会の順番としたら各常任からとか特別委員会からこのテーマはどうだろうかというものを受けて班長会議で決めてきましたよね。今回は、順番がそうじゃないよというところで議長からのお願いがこの場であったんだとは思いますが、どうなのでしょう、この場で僕たちがやるのかやらないと言えるのか分かんないですけど、やるやらない、誰がどうこう決めてやるのか、この後の議員全員協議会で全てがごろっと変わるのかで全く読めてこないなというのと、あと内容が今の現段階だとつくるのが難しいかなと、すみません、感想です。

○網谷委員長 それも含めて、今はもう今日のこの時間では時間もありませんので、来週ぐらいに1回委員会を開きたいと思っております。それに、まずは委員会を開くことに対して、次

回が開催日ということになるんですがまず了解していただければ。よろしいですかね。それで、了解させていただければ日程を決めたいんですが、来週14日の週でどうですかねと思って。

小田上委員。

○小田上委員 すみません、確認で。なので、今から今日の議会改革特別委員会でどうするかというの具体的な時間的にも決められないと、なのでこの後の議員全員協議会の結果を受けてということですかね。違いますか。すみません、そこの整理を申し訳ないです。

○網谷委員長 もう議員全員協議会の結果を受けてできればいいんですが、どちらにしてもタイトなスケジュールになるんで、まずは来週ぐらいに委員会を開いていただいて、今のやるかやらんかも含めてこれからの提出事項、もしやるとすればどういう、今議長もさわりを言いましたが定数問題のメリット・デメリットとか、それから全国の自治体の議員数とか、似たような数字の議員数とか、今資料がある中では大竹市の数年来の議員定数の経緯とかそういう市民に対して示すことができるようなことを検討したいんですよ。これとこれが要るんじゃないかと、あればあったでそれに向けて制作せにゃいけんので。

小田上委員。

○小田上委員 この議会改革特別委員会でそれをやってもいいかどうかの決は次回ということですよ。なので、この後の議員全員協議会の協議の結果も各委員は踏まえたものを来週やりたいということでもいいですよ。だという説明だったと思いますけど。

○網谷委員長 私と小田上委員のやり取りになるんですが、やるかやらないかということは前回の正副班長でそこでおおむね実行するというのを。

〔発言する者あり〕

○網谷委員長 失礼しました。ということで、今小田上委員が発言されたとおりに、やるかやらんかいうのはおおむね私の個人的な意見としては無投票の結果も出たし、やらないといけないんじゃないかという私情も交えて、それも含めて来週日にちが決まったらその日に今私が申しましたような資料の作成も含めて一緒に審議してまいりたいということなのでお願いします。お分かりいただけましたかね。そういうことで、それがまだ日にちが決まってないんで、まず日にちを決めてから、来週の14日の週で議長の何かスケジュール入っておりますかね。

局長。

○三上議会事務局長 14の週、議長特に予定ありません。ただ、副議長が火曜日、後期高齢者の会議がありますので。

○網谷委員長 はいじゃあ水曜日16日はいかがですかね。

〔「オーケーです」と呼ぶ者あり〕

○網谷委員長 それでは、来週16日の水曜日、10時からよろしいですかね。お願いします。それで日にちと時間は決まりましたので、その日の、さっき言いましたように宿題と申しますか、皆様方が一応考えとってほしいのは、やることになったらですよ、実行することになれば報告会ですので挨拶はもちろんありますよね。要するに読み原稿ですよ。それ

から、委員会での、今からまだ何回か委員会行いますのでその協議内容、その中にはさっき議長が言いました定数問題のメリットとかデメリットとかそういう協議もしなければなりませんし、それで、これは一応今回のアンケート、全議員の、これを披露するかどうかというのも含めて協議にもっていきたいと思います。駄目なら駄目でもよろしいんですがね。それから、5万人と議長は言いましたが私は2万人から3万人ぐらいの範囲の自治体の参考資料の制作とかいろいろあるかと思いますが、とにかく議会報告会に必要な、今までも経験はありますので大体分らうかと思いますが、そういうのも含めて2月の16日には審議したいと思います。そういうことで、宿題として考えていただけたらということでございます。以上です。

何か疑問点があれば。ないですかね。

なければ、以上で議会改革特別委員会を終了させていただきます。

15時23分 閉会